

精密タッピングマシンの知恵袋

microtap-3

【相談】



オーバサイズタップ加工後の熱処理で、めねじが歪み GP-NG となります。
そこで、さらい加工をするのですが、二度切りが多く発生します。
二度切りが発生しない加工機などは、ありませんか。

【回答】

二度切りが発生しない加工機として、
「精密タッピングマシン」を紹介します。



【解説】

精密タッピングマシン「megatap/microtap」は、主軸の加工バランスを微調整できる優れたタッピングマシンです。無理な押し圧力を加えずに、さらい加工ができるので、めねじの二度切りが無くなります。



まず、めねじの入口は、1ヶ所であることを理解してくださいね。
しかし、力を入れてさらい加工すると、新たな入口を作りながらタップ加工が行われてしまうため、二度切りめねじができてしまうのです。
スムーズなタップ加工を行うには、タップが無理なく、めねじの入口に入り込む必要があるのです。
主軸のバランスが取れた「megatap/microtap」で、押し圧力を加減しながら、さらい加工すれば、問題解決すると思いますよ。



精密タッピングマシン「megatap/microtap」は、主軸がばねで吊り下げられ、宙吊りの状態になっているんだ。
だから、主軸のバランスが良く、無理な圧力が加わらず、タップの二度切りが防げるんだね。

めねじに付いためっきや塗装・ごみを取り除きたい時もさらい加工が必要になってくるね。大量のさらい加工がある時は、「ねじ簡易検査ツール SIT」にサライ溝を追加すると作業効率がアップするよ。



「ねじ簡易検査ツール GB」は、通りゲージと同じ寸法にできています。



サライ溝付き「ねじ簡易検査ツール」